



10

2026
(令和8年)

No.254



「世界一長いベンチ」
イルミネーションは
日没から約4時間点灯
(10月末まで)

光の絆 増穂浦の きらめき

2026

9月12日(土)、富来商工会の震災復興イベント「光の絆 増穂浦のきらめき2026」が開催され、増穂浦の美しい海岸や多目的広場を舞台に、イルミネーションの点灯、スカイランタン。の打ち上げ、復興祈念の花火などがありました。

地元グルメや特産品が並ぶ「富来元気マルシェ」や、和太鼓・よさこい・富来音頭などのステージパフォーマンスも行われました。

令和6年能登半島地震からの震災復興を祈念し、灯りに願いを込めて地域に希望を届けるために企画され、会場は多くの人が集まり、盛り上がりしました。

なお、世界一長いベンチのイルミネーションは、東洋大・金沢大学の学生や老人会などのボランティアが設置。10月31日(土)まで点灯しています。



復興と未来のまちづくりを語る

石川県の山野之義知事が市町を訪れ、現場の課題を直接聞き取る「いしかわ移動知事室」が8月18日(火)、志賀町で開かれ、県と町が進める令和6年能登半島地震からの創造的復興や、今後のまちづくりについて意見を交わしました。



役場本庁舎での懇談



能登半島遊覧船に乗船

役場本庁舎で開かれた懇談では、稲岡町長から山野知事へ震災後の町の状況や復興の取り組みをはじめ、県から受けているさまざまな支援について報告しました。県職員による海岸清掃や業務改革（BPR）の伴走支援、自治体DXアクセラレータの派遣、富来漁港近くに漂着したフローティングホースの撤去など、現場に寄り添った支援に感謝を伝えました。

町内視察では、能登金剛遊覧船(有)の木谷茂之代表取締役の案内で能登門遊覧船に乗船したほか、今年完成したアーバンスポーツ施設や野外ステージを備えた多目的広場を見学しました。

次に、(株)日進月歩の佐藤正樹代表取締役の案内で、赤崎地区の古民家宿「TOGISO」も見学。地域の観光資源や施設を生かした今後の取り組みについて、意見を交わしました。



赤崎地区の古民家宿「TOGISO」を見学



道の駅とぎ海街道周辺の再整備について説明



富来漁港近くに漂着した長さ約150m、推定300tのフローティングホースを撤去した県に感謝を伝えた

また、人口減少や若者の町外流出を踏まえ、「若者を選ばれる志賀町」を目指した取り組みについて説明。GX産業団地などによる働く場の創出、子育て・教育環境の充実、関係人口の創出など、若者が「ここで暮らしたい」と思えるまちづくりを進めていく考えを示しました。

さらに、道の駅とぎ海街道周辺の再整備について、観光客が地域に滞在し、町内で消費する「滞在型観光」への転換を図る計画を説明。このほか、主要地方道深谷中浜線の早期完全復旧と拡幅、志賀高校の魅力化や地域留学の推進などについても意見を交わしました。

県と町が連携をさらに深め、復興を着実に進めるとともに、将来にわたって住み続けたいと思える志賀町の実現を目指します。

令和 8 年 8 月 27 日豪雨の被災状況調査結果報告



8月27日(木)の大雨を受け、国土交通省の緊急災害対策派遣隊「TEC-FORCE」が、町が管理する河川の被災状況を調査しました。TEC-FORCEは、災害時に被災状況を迅速に調査し、自治体の復旧を支援する国土交通省のチームです。

9月7日(月)、北陸地方整備局の調査員4人が稲岡町長を訪ね、調査結果を報告しました。今回の調査では、町が管理する準用河川のうち、6河川(大神宮川、於古川、東谷内川、杉谷内川、菱根川、甘田川)の調査を実施。調査の結果、特に菱根川・大神宮川で著しい被災が確認されました。また他の川も復旧が必要と報告し、調査結果をまとめた成果報告書の手交式を行いました。

稲岡町長は「今回の豪雨で、家屋では床上浸水10件、床下浸水20件の被害があった。河川や道路などの被災も多く報告が上がっている。技術職員が不足しているため、今後も財政面でも国から支援していただきたい」と話しました。

町では、今後の復旧に向けて対応を進めていきます。



「秋のポイント倍増キャンペーン」

ご好評を頂いた春のキャンペーンと同様、
QR 読取・ウォーキングのポイントを倍増します！

期間 **10月1日(木)～11月30日(月)**

QR 読取

通常

1 施設 2P
×
3 施設
= 最大 6P

×2

～ 11/30

1 施設 4P
×
3 施設
= 最大 12P

ウォーキング

歩 数

3,000 歩以上
5,000 歩以上
8,000 歩以上

通常

2P
3P
4P

×2

～ 11/30

4P
6P
8P

～ 10 月も「出張窓口」を開催！～

開催日	時 間	会 場
10/23 (金)	10:00 ～ 12:00	富来支所
	13:30 ～ 16:00	志賀町役場

問い合わせ【のとピット事務局】(県デジタル推進監室) ☎076-225-1320

10月1日から 3・4・5歳児も保育園の 主食を無償化！



「ごはん代」も町が応援。子育てに、もうひとつ安心を。

町では、子育て世帯の経済的な負担をさらに軽減するため、**10月1日から**保育園・認定こども園の「**主食**」を無償化します。

これまで保育園などにおける1・2歳児の主食（ごはん）および**副食費**（おかず・おやつ）の無償化に取り組んできました。

今回、新たに「主食（ごはん）」も無償化することで、**主食+副食**を合わせた給食費を町が支援。

公立・私立を問わず、町内の保育園・認定こども園で「**完全給食**」を実施します。

公立・私立、
どちらも対象です。



毎日の「食べる」を、子育て支援に。

子どもたちの健やかな成長を支える毎日の給食。
その負担を少しでも軽くすることも、
大切な子育て支援のひとつです。

志賀町はこれからも、
「ここで子育てしてよかった」と
感じてもらえるまちを目指し、
子育て世帯に寄り添った
取り組みを進めていきます。



問い合わせ 子育て支援課 ☎32-9122

10月から変わります！

これまで 副食費
(おかず・おやつ)

→ 無償



10月1日
から 主食(ごはん)

→ 無償



主食+副食=完全給食へ！

物価高騰支援

水道の基本料金を無償化(免除)します

☎ 上下水道課 ☎32-9241

物価高の影響を受けている町民および事業者を支援するため、国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、水道の基本料金を無償化します。(申請不要)

●対象者 すべての給水契約者(官公署を除く)

●対象期間 令和8年10月請求分の1カ月(9月使用分)

●免除内容 水道料金のうち基本料金およびメーター使用料

※一般用、口径20mmの場合：1,859円/1カ月(1月当たり基本料金1,650円+メーター使用料209円)

※水道料金の超過料金、下水道使用料は免除対象外。

●地域水道補助 … 町の給水区域外における地域水道事業体については、基本料金相当額1カ月分の補助金を交付します。詳しくは上下水道課まで問い合わせてください。



飼い主のいない猫の 不妊・去勢支援事業がパワーアップ！

☎ 生活環境課 ☎32-1180

町では、令和8年10月より石川県の事業を活用した新たな助成制度を開始します。これまで予算額に達したため一時受付を停止していましたが、より手厚い支援内容で生まれ変わりました！

申請方法・利用の流れなどの詳細は、町ホームページ(☎8503)を確認してください。



上限額	これまで	10/1 から
オス	8,000 円	→ 11,000 円
メス	11,000 円	→ 14,000 円



志賀町デザイン教室

金沢美術工芸大学連携協定事業

8月8日(土)、9月12日(土)、金沢美術工芸大学で「志賀町デザイン教室」を開催し、町内中高生8人が参加しました。

平成28年に同大学と結んだ連携協定に基づき、令和元年度にデザイン教室を開催し、その後コロナ禍、地震の影響により中止としましたが、昨年度より事業を再開し、今年度はデザイン教室(金工・陶磁)を体験しました。

1回目の教室は、金工(彫鍛金)で世界にひとつだけのマイスプーンを作りました。2回目の教室は、陶磁皿に上絵付をしました。お皿に自分の好きな絵を描き、すてきな作品が出来上がりました。

【令和9年】志賀町二十歳のつどい

20歳の門出を祝い、大人としての自覚を促す機会として「二十歳のつどい」を開催します。

◆日 時 令和9年 **1月10日(日)** 11:00 ~

◆場 所 富来活性化センター

◆対 象 町内在住または出身の人で、今年度20歳を迎える人(生年月日が平成18年4月2日から平成19年4月1日までの人)



※10月下旬に案内を発送します。対象者で住民登録の住所もしくは実家の住所にも案内が届かない場合は連絡をお願いします。

※志賀町「二十歳のつどい」は対象者を代表する実行委員会を中心に企画・運営します。

文芸教室

富来俳壇

朝顔や朝一番の和を広げ

藤川 増野

かなかなや畑仕事のひとくぎり

前川美代子

つや降り暫し眺める星月夜

屋敷 香陽

早朝や一人占めをり牽牛花

安田紀美恵

八十余年懐古に仰ぐ星月夜

松本 慶子

聞こえてる戻りお旅の遠太鼓

よしへひてふ

夜尿苦ふきとぶ星月夜パノラマで

小谷内まち子

能登は今復興最中冬仕度

高岩 満

星月夜無限の宇宙に我招く

新澤 和子

安らぎは晩年にあり露天に月

川田まさる

投稿 短歌、俳句、川柳

雨蛙フロント窓にベッタリと

山守 宏子

腕白の黄門真似る蛇の殻

土田エミ子

お盆だよしんせきそろいにぎやかに

堀 禮子

語りて楽し今日一日

堀 禮子

友有りてグループ作業十余年

光 雄

体が資本もうすぐ八十路に

光 雄

背丈け越し夏草繁る荒れし田の

志津江

穂の実つえばむすずめの大群

志津江

祖を偲び我在るルーツ辿りつつ

松本理希三

微風を肌感じて落葉掃く

代子

猛暑過ぎて一息ついた

代子

「文芸教室」に掲載する作品を募集しています。短歌、俳句、川柳については一首(一句)として、毎月25日までに送付してください。(連絡先必須) 紙面の都合上、掲載できない場合もありますのでご了承ください。 ■宛先/〒925-0198 志賀町末吉千古1-1 志賀町教育委員会 生涯学習課まで

JAPAN TENT

世界留学生交流・いしかわ 2026

【志賀町プログラム】 8/20 (木)～ 8/23 (日)

今年で39回目を迎える、世界各国の留学生との交流事業「ジャパンテント」が行われました。志賀町でのプログラムは、2カ国から2人の留学生がホームステイを体験しました。

初日は対面式を行い、21日の体験交流では、カネヨ醤油（鹿頭）での醤油蔵見学や蔵門で遊覧船を体験し、志賀町の美しい自然に触れ感動していました。

22日は、終日、ホストファミリーの皆さんと交流を深め、23日のお別れ式で、参加者は別れを惜しんでいました。



カネヨ醤油で交流体験する留学生とホストファミリーの谷内さんと大島さん家族



醤油蔵見学



対面式

日本語教室（交流会）

【志賀町の生活を知ろう！】 8/23 (日)～スタート

8月23日(日)には富来活性化センター、9月5日(土)には志賀町役場で日本人＆外国人の交流会を開催しました。

「しかまちの生活を知ろう！」をテーマに、第1回目は「季節の飲み物・夏の夏祭り」について、第2回目は「9月に食べる季節のお菓子」について、日本語で交流しました。

外国人にとって、日本語を学ぶだけでなく、住民と対話する貴重な交流の場となっています。

日本人も外国人も「安心して暮らせるまち」をつくるために、日本語で交流し、お互いの文化を知り、理解し合えるまちづくりを目指しましょう！



2026年 10月18日(日)
10:00～11:30

志賀町 富来活性化センター
(志賀町富来領家町甲の10番地)

10月は「志賀町を知ろう！楽しもう！」をテーマに開催します。
ぜひお誘いあわせのうえ、ご参加ください。(無料 0えん)

岡 生涯学習課 ☎0767-32-9350

gakushu@town.shika.lg.jp